

# Symposium

シンポジウム

2021/11/26 (土)  
14:00 ~ 17:00

戦後上海における

対日情報戦のグレイゾーン

— 『改造日報』を中心として —

郭沫若



# 改造日報



陸久之

菊地三郎

会場：アジア・アフリカ文化財団（東京都三鷹市新川 5-14-16）

会場参加 定員：50名（一般公開）参加費／無料

オンライン視聴（ZOOM）可

会場参加・オンライン視聴をご希望の方は↓

申し込み・問い合わせ ▶ アジア・アフリカ文化財団

☎ 0422-43-0536 ・ E-mail info@aacf.or.jp

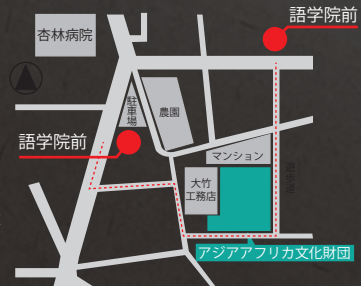
JR 吉祥寺駅より約 20 分

小田急バス⑥番乗り場から【深大寺】【野ヶ谷】、⑦番乗り場から【仙川】【新川団地中央】行きに乗り、「アジア・アフリカ語学院」前下車

小田急バス⑦番乗り場から【仙川】【晃華学園東】、⑧番乗り場から【野ヶ谷】行きに乗り、「アジア・アフリカ語学院」前下車

京王線仙川駅より約 10 分

小田急バス乗り場から【吉祥駅】【三鷹駅】行きに乗り、「アジア・アフリカ語学院」前下車



【主催】日本上海史研究会／公益財団法人アジア・アフリカ文化財団

科研費基礎研究（C）「対日・対独協力者の『グレイゾーン』—国際比較研究を通じた歴史認識の刷新を目指して」（研究代表：高網博文）

【共催】一般社団法人中日文化研究所

戦後上海における

対日情報戦のグレーゾーン

— 『改造日報』を中心として —

14:00 ~ 14:10	開会挨拶	木村実季	アジア・アフリカ文化財団理事長
14:10 ~ 14:30	基調講演	高綱博文	日本上海史研究会代表
	報告		
14:30 ~ 15:00	報告①	趙夢雲	東大阪大学教授
15:00 ~ 15:30	報告②	渡邊ルリ	東大阪大学教授
15:30 ~ 15:40	休憩		
15:40 ~ 16:10	報告③	陳童君	南京理工大学教授
16:10 ~ 16:55	参加者との質疑応答		
16:55 ~ 17:00	閉会挨拶	堀中浩	中日文化研究所理事長

公益財団法人アジア・アフリカ文化財団（アジア・アフリカ図書館、アジア・アフリカ語学院）は、第二次世界大戦後のアジア・アフリカ諸国の独立の時代を背景として誕生した。その発端は中華人民共和国の初代副総理となった文学者郭沫若と本財団の創立者である菊地三郎のかかわりにあった。その歴史は紆余曲折を経た戦後の日中文化交流史を考える際の重要なテーマとなりえる。

アジア・アフリカ文化財団の創立者である菊地三郎は大戦末期に朝日新聞社の特派員として上海にあった。彼は敗戦前夜から日中の知友たちと上海において中国国民政府軍の日本語新聞『改造日報』の創刊に係わり、改造日報館社長の陸久之と戦後の中国と日本を文化交流で結ぶ機関の設置を協議した。菊地は1946年5月に上海から東京にもどり、銀座に「中日文化研究所」を開設した。そのころ、重慶から郭沫若・茅盾など著名な中国文化人が上海にもどったが、国共内戦の危機が迫ると郭沫若は香港へ逃れ「中日文化研究所」へ新しい資料を送った。一方、菊地は当時、市川市に在住の郭沫若の家族と交流を持ち、それが縁で郭沫若の蔵書「郭沫若文庫」が「中日文化研究所」へ寄贈された。この「郭沫若文庫」を中核として1957年にアジア文化図書館が創設され、その後アジア・アフリカ図書館へと発展した。

今回のシンポジウム「戦後上海における対日情報戦のグレーゾ

ン」は、アジア・アフリカ文化財団の理事長である木村実季氏により菊地三郎の遺品整理中に『改造日報』（原紙）が発見されたことが契機となって開催につながった。『改造日報』は日本の敗戦後、上海を接收した中国国民政府軍が上海の日本軍官民に向けて、軍国主義思想の矯正と民主主義の啓蒙のために1945年10月からおよそ1年間刊行した邦字新聞である。それは、当時の上海日本人の社会状況や引揚げの様子を伝える貴重な史料でもある。また、『改造日報』については「国民党がお金を出しているが共産党の主張を宣伝する新聞である」との指摘があるように国共両党の対日情報戦を物語る希少史料ともなっている。『改造日報』が創刊されたのは国共内戦勃発の前であったが、そこには支配と被支配の立場が逆転した日中の関係性の中で、日本軍官民に向けて国共両党がせめぎ合う政治空間—グレーゾーン—が現出していた。

今日、戦後75年以上を経た日中関係は「日中友好」のスローガンだけでは現実的な対処は困難であり、その歴史を再検討することが求められている。そして、戦後の日中関係の原点は日本が敗戦した直後の「満洲」とともに上海にあったと考えられる。私たちはアジア・アフリカ文化財団のルーツを敗戦後の上海に求め、同財団の創立者菊地三郎も創刊に係わった『改造日報』やその周辺情勢をめぐるグレーゾーン的一端を明らかにしたい。